第 4 回　放送番組審議会

議事録

令和 4 年 6 月 13 日

株式会社コミュニティシェア FM

1.　開催年月　　令和 4 年 6 月 13 日　月曜日　午後 14 時より
2.　開催場所　　株式会社リゾン　会議室
3.　委員の出席　　出席委員数　5 名（委員総数　5 名）
4.　議題
　①　局長挨拶
　②　番組審議

5.　議事の概要
　放送番組「箱崎幸子の『生きてやろうじゃないの』」について

6.　議事内容
①　局長挨拶
・ラジオは視聴率がとれないのですが、リスラジ（アプリ）から接続し視聴してくれているリスナー数はユニークユーザー数として把握ができる。約 1 年間でグラフ化してみたところ、右肩上がりだった。皆さんのご意見が反映されていると感じている。引き続きご協力をお願いします。
・防災協定締結式が決まったのでご報告をします。新座市 6/20（月）、和光市 7/7（木）
・地域の方向けにスマホ講座を実施している地域の方より、リスラジをスマホにダウンロードする講習会をしているとの声があった。嬉しく思っている。

②番組審議
以下の番組について、放送視聴された感想や意見、課題点を挙げていただき、委員同士での意見交換や必要に応じて、事業者からの説明・回答をおこなった。

事業者）率直に、番組を聞いて感じたこと、思ったことをお聞かせください。

委員長）歌手も番組も初めて知りました。歌手を知っている方は聞きたい内容だろうが、それ以外はどんな方が聞くのかなと思った。地域の PR として朝霞市の公園を紹介されていたのでコミュニティラジオとしては良いと感じた。

委員）題名を見たときから、面白そう！興味をそそると思った。箱崎さんの歌は CD で何度か聞いたことがあった。テーマに沿った内容だった。毎週、誰がゲスト出演するのだろうと気になった。すばらしい題名でワクワクさせてくれ、出演されている方の人生の話を聞く良い機会になった。自身の活動とコラボができたら良いなと思った。

委員）主題歌いいですね！聞きやすかったです。内容は、まさに我々世代の話。励みのある、空・雲・風のキーワードが出てきてので、自身の活動について思いを馳せる時間となった。聞いていて、引き込まれるような印象を感じ、番組との相性の良さを感じた。身近に感じるため、語り部形式にするのはどうでしょうか。音楽とは無縁の人からすると、有名な人か･･･くらいの感じがした。

委員）正直、ピンとこなかった。自身に、ハマる内容ではなかった。ただ、題名やテーマを持ち、改めて聞くと違った印象を持ったかもしれないと皆さんのご意見を聞いて思った。

委員）3 回ずつ聞いたが、私も全然ピンとこなかった。曲調も馴染んでこなかった。年代が違うからなのか、前のめりに聞き入れず、最後まで興味が沸くことはなかったのが正直な気持ちです。ただ、地域の情報を紹介しているところは聞き入った。ボイストレーナーさんの話は素晴らしく、新たな知識を得た感じがした。声はすごく綺麗な方ですよね。

事業者）歌手の番組はターゲットが狭まり、万人受けする内容にするのは難しいと感じている。様々なご意見があるのはごもっともです。番組作成を当局から依頼した方。地元の話より今まで生きてきた人生を是非話してほしい番組。毎回毎回、違うゲストを連れてきて収録に望んでいるのは流石と思っている。

事業者）番組以外で何か当局に何かアドバイスがあればお願いします。

委員）局オリジナルのジングルを春夏秋冬でイメージを変えて作るのはどうですか。子どもも大人も、つい口ずさむオリジナル感・インパクトがあると楽しい！小学校などの災害訓練などで活用してもらうなど、局を知ってもらう一つとして活用すると、局がより地域に浸透していくのではないでしょうか。

事業者）検討している段階で現状はありません。募集形式にしても楽しいですね。耳に残る音楽で美しければなお良いと考えております。

事業者）報告で、地元の夏祭りでステージを担当します。局を知ってもらう場として活用を考えています。皆さま、さまざまなご意見をいただきありがとうございました。

委員長）では、これで会を終了します。

7. 審議機関の答申または改善に対してとった措置
   担当者に報告し、今後の FM の運営の参考にした。

8. 2022 年 6 月 14 日火曜日に社内にて報告し、ホームページにて議事録を公開した。
   https://775fm.co.jp/

社名　：　　株式会社　コミュニティシェア FM